

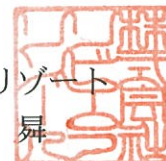
(第7号様式)

指定管理業務実績 (上半期)・下半期) 報告書

平成24年10月20日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

葉山港指定管理者
株式会社リビエラリゾート
代表取締役 渡邊 昇



葉山港の管理に関する基本協定書第39条第2項の規定に基づき、次のとおり指定管理業務実績報告書を提出します。

記

- 1 葉山港事業実施報告書
 - (1) 業務の運営に係る総括
(組織体制、内部管理体制、スタッフ研修、業務合理化等)
 - (2) 港湾管理業務に係る総括
(利用承認業務、利用者指導・調整等、安全管理指導)
 - (3) 維持管理業務に係る総括
(施設維持管理業務、災害時対応業務等、駐車場管理業務)
 - (4) 開かれた港湾に向けた取組に係る総括
(開かれた港湾に向けたイベント等実施結果、利用促進・自主事業・広報等)

- 2 指定管理料等執行状況報告書

(第37号様式)

指定管理業務実績（上期）報告書

平成24年10月20日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

指定管理者
株式会社リビエラリゾート
代表取締役社長 渡邊 昇

1、葉山港事業実績報告書（平成24年度上期）

（1）業務の運営に係ることについて

ア、組織体制

- ・平成24年度葉山港人員配置書の基づき、正社員4名、非常勤社員4名、アルバイト作業員6名の業務実施対応をとった。

イ、内部管理体制

- ・必要に応じて分担外の事務を相互に援助し処理する為に、事務所に携わる全スタッフが窓口事務、利用承認事務や駐車場料金回収業務等対応できる状態にし、青海苔除去作業、港内の巡視業務に関しては、荒天時以外は全スタッフで対応できる状態にした。

ウ、受付の無休化

- ・24年度は無休で受付業務を可能とし、23年度に引き続きの受付を行った。
24年度下期、25年度も引き続き年中無休の受付を継続するため、申請を行った。

エ、スタッフ研修

- ・毎日朝礼を実施し、挨拶練習と接遇練習を実施。
・プライバシーマークの個人情報保護に関して社内研修を全スタッフが受講。

オ、業務合理化等

- ・業務内容をスタッフ間で週に一度ミーティングを開催し、港内全般の経費の節減や小規模の修繕について話し合い、都度改善に取り組む。

（2）港湾管理業務

ア、利用承認業務

- ・利用承認手続き事務については、「葉山港の施設の利用承認等に関する事務処理要綱」に基づき実施しており、概ね順調に推移しております。また事務手続きの簡素化、合理化に向けて港湾システムの改善、その他取扱いについてさらに県と協議していく。

- ・その他、条例、規則、利用上の取扱い等を遵守し、中立公平を旨として実施している。利用承認申請手続きにおいて、個人情報漏洩に注意し、申請内容、添付書類等の確認を図りながら収入証紙の消印時の確認等に誤りがないよう事務の執行に際し徹底指導を行っている。
- ・ヨット競技が同日に複数開催されるときには、施設が効率的に利用できるよう調整し、有効活用を図った。その他、大会ヤードやビジター桟橋について一般の臨時利用もヨットレースと同時にご利用をいただく工夫を実施。クレームや大きな事故などなく安全に大会ヤードを提供した。

イ、安全管理等サービス業務

- ・艇の出艇時に気象等安全に関することを窓口で必ず伝え、注意報等が発令された時は、ヨット施設利用者等の安全管理等業務に基づき出艇禁止等の措置を行い、また、天候が急変した時は、救助艇で海上での帰港指導を行うとともに帰着の確認をし、安全な対応を図っている。
- ・7月より開始の「津波警戒避難標識」については、施設内の掲示とホームページでの告知、通年艇利用者への郵送対応で周知を図った。また、大会誘致の際に避難経路図を大会本部に渡し、津波警報等が発令の際の避難方法について説明を実施した。
- ・窓口での対応をはじめ船舶係留施設の安全点検を実施している。
- ・葉山町や県主催の行事に積極的に協力し人員の補助や、レスキュー艇を遊覧船として出航を実施。

(3) 維持管理業務に関することについて

ア、施設維持管理業務

- ・定められた施設の維持管理に伴う定期清掃については、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めている。港内船揚場斜路の青海苔除去作業については、特に注意深く行い、利用者の安全に努めた。その他、港内巡視業務を実施し、各施設の安全確認を行った。また、通常の巡視業務とは別に A 防波堤を 1 日 2 回巡視し、立入禁止区域への立入者への口頭注意と港内放送での注意を実施。夜間についても警備員が施設全体を定期的に巡回し、施設内の安全管理に努めた。

イ、保守点検・修繕等業務

- ・施設を安全に利用できるよう事務所自動ドア、自家用電気工作物保安管理業務等の全 6 項目において保守点検を専門業者へ委託した。自社のレスキューボート 2 艇に関しましては、自社の整備担当スタッフによる点検・修理を実施。

ウ、災害時対応業務

- ・葉山港は葉山町防災計画に位置づけられており、町に災害対策本部が設置され、葉山港においては緊急物資の受け入れや避難場所の開設等、県の災害対策本部との連携にあたって、事務所スタッフが迅速な対応を図るよう努めている。

9月に実施された、神奈川県と横須賀市主催の「ビッグレスキューかながわ」では、防災岸壁を船から救援物資の場として提供。当日の駐車場内やヨットヤード内の整理を行った。

- ・24年7月に改訂した「葉山港津波発生時行動マニュアル」にもとづき、24年8月にスタッフ向けの避難誘導訓練を実施した。引き続き訓練を定期的実施予定。
- ・解放しているA防波堤の利用について越波等の状況を確認後利用者の安全を考え、荒天時には臨時に閉鎖等の対応を図り、また、台風等の接近が予想される場合は、事前に係留艇、陸置艇のロープ等の状況を確認し、迅速な対応を図るよう努めている。利用者からの問い合わせに対し、艇の確認で来港される方が多い際は台風時の来港者リスト作成を実施。

エ、駐車場管理業務

- ・快適に駐車場を利用できるよう適切な管理を行い、自動料金徴収機等の故障時等は迅速に対応した。また、定期的に点検を行い、駐車券の補充、釣銭の補充等を行いトラブル等防止に細心の注意を払い業務を実施。
- ・専門業者に駐車場システムの保守点検を委託し実施。

オ、会議室及びシャワー室利用承認業務

- ・利用者間の平等利用に留意しながら公平かつ適切に行うよう努めた。

(4) 開かれた港湾としての取り組みに係ることについて

ア、開かれた港湾としてのイベント

- ・葉山港及び地域の活性化を図る目的で、「葉山港みなとまちづくり協議会」を主宰とし4月15日に「葉山くるる」、8月5日に「葉山しょみんばた」が開催された。両イベントで約3,200名の参加があった。

イ、利用促進、広報

- ・新港大会ヤードで行われるレース開催及び臨時艇を受け入れ、外来艇の利用促進に努めた。
- ・利用案内を窓口に備え付け、必要に応じて利用者に配布した。
- ・葉山港の公式ホームページを利用し、レース予定・施設のご案内・ライブカメラ・申請書のダウンロードなどを可能にした。
- ・22年度中に配備した1階の管理事務所前に休憩スペースや、自販機（飲料・パン・カップメンなど）を継続して実施。他、管理時事務所棟内に関して無線LAN回線を継続して使用できる様にした。
- ・22年度に設置した事務所前スペースの意見箱と掲示板について、定期的に回収した情報更新を実施した。
- ・通年艇利用者に対しては、レースやイベント時で混雑が予想される際は事前に通知を送り、施設提供の協力と大会開催の理解を得ていただく要望を郵送にて対応した。

ウ、付帯事業等に係ることについて

- ・「葉山港の施設の利用承認等に関する事務処理要綱」に基づき、利用者へのサービス向上に努めた。

イ、レンタルボート事業

- ・ヤマハシースタイルレンタルボートの継続。通年艇利用者は、特別会員制度があり、ヨットレースの運営艇や救助艇として利用をいただく。
一般の会員の方も利用できるシステムではあるが、安全講習を行った上での利用の為、トラブルや事故は現在まで無い状態。利用増加に伴い24年4月より1艇を追加し、2艇体制で実施。

ウ、海の駅認定に向けた取り組み

現在全国で138箇所の認定を受けている「海の駅」認定を受ける為、県との協議を実施。施設的な問題が無いことから、11月認定に向け利用者への告知を行った。また、地域と連動をし、11月に認定式を企画し海洋普及の為のイベントを開催予定。

2、指定管理料執行状況報告書

別添のとおり

平成24年度上期指定管理料執行状況報告書

区 分		金 額 (単位:円)			備 考
		指定管理業務	指定管理 附帯事業	その他 提案事業	
収 入	指定管理料	30,952,386			
	県収入証紙販売手数料		2,175,485		
	その他(事業収入)			5,242,518	物販 レンタルボート レース運営
	その他(事業外収入)				
	消費税及び地方消費税	1,547,614		262,126	
	収入合計(A)	32,500,000	2,175,485	5,504,644	
支 出	人 件 費	常勤給与・賞与	9,413,800		
		非常勤給与・賞与	5,160,000		
		各種手当	955,274		
		法定福利費	1,647,163		
		アルバイト賃金	2,762,362		2,762,300
		小 計	19,938,599	0	2,762,300
	事 務 費	一般管理費 (消耗品、図書代、通信運 搬費、職員旅費など)	1,812,994		39,748
		光熱水費 (電気、上下水道)	2,873,624		
		保険料 (施設賠償保険料など)	759,553		167,030
	ヨット等安全管理業務費	224,119		363,388	
	駐車場管理費	364,200			
	施設維持管理費	6,437,432			
	租税公課	61,420		609,260	
	減価償却	200,000		947,000	
	その他			1,372,463	
	小計	12,733,342	0	3,498,889	
	合計	32,671,941	0	6,261,189	
消費税及び地方消費税	1,305,451		214,317		
支出合計(B)	33,977,392	0	6,475,506		
差し引き(A) - (B)		-1,477,392	2,175,485	-970,862	
差し引税別		-1,719,555	2,175,485	-1,018,671	